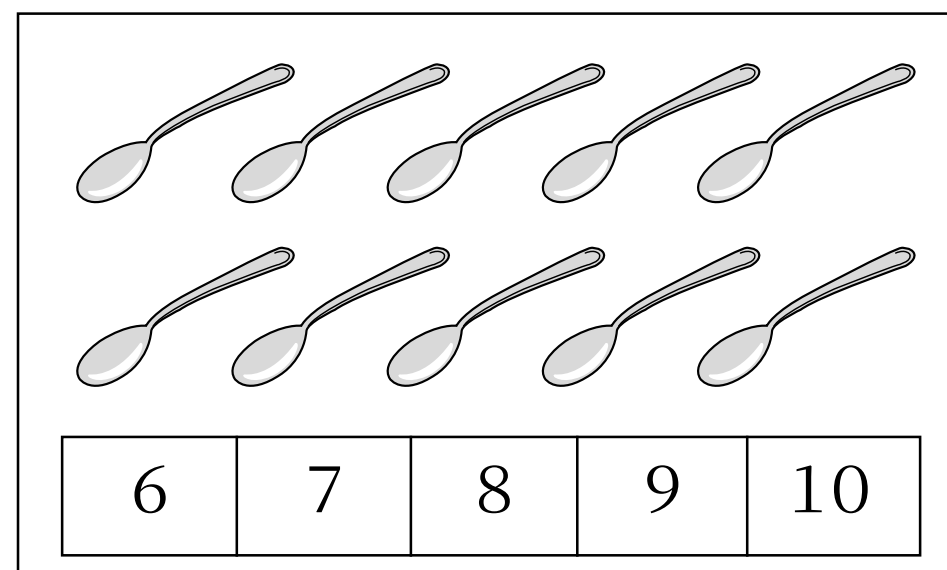
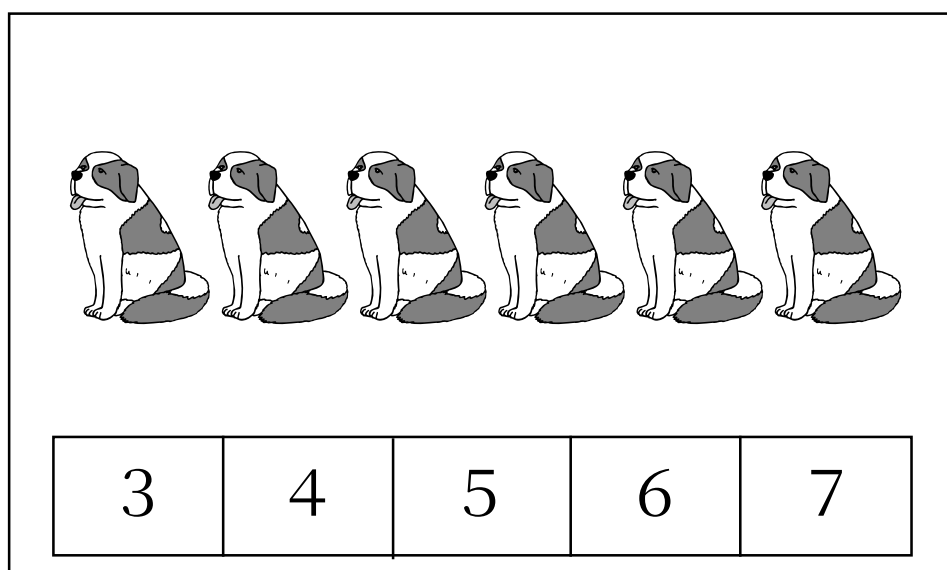
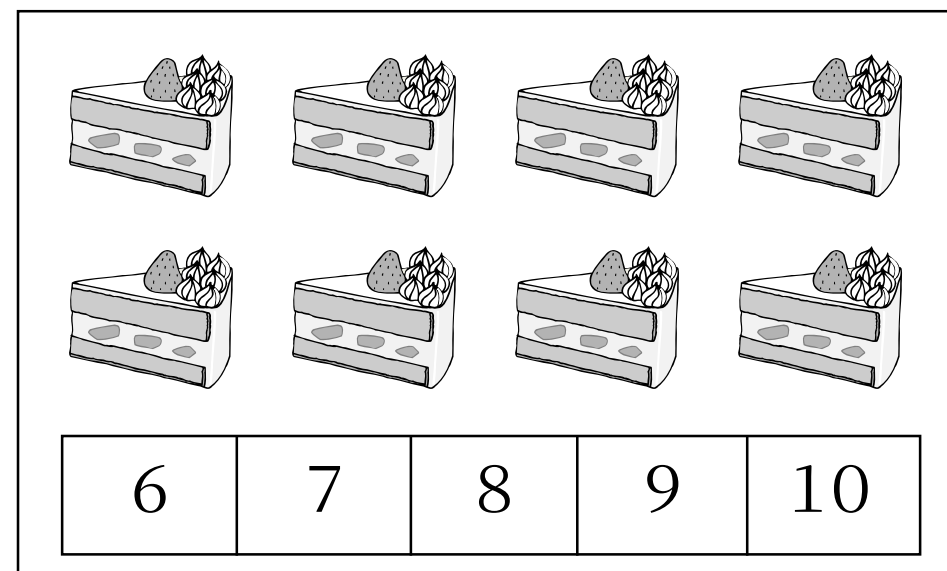
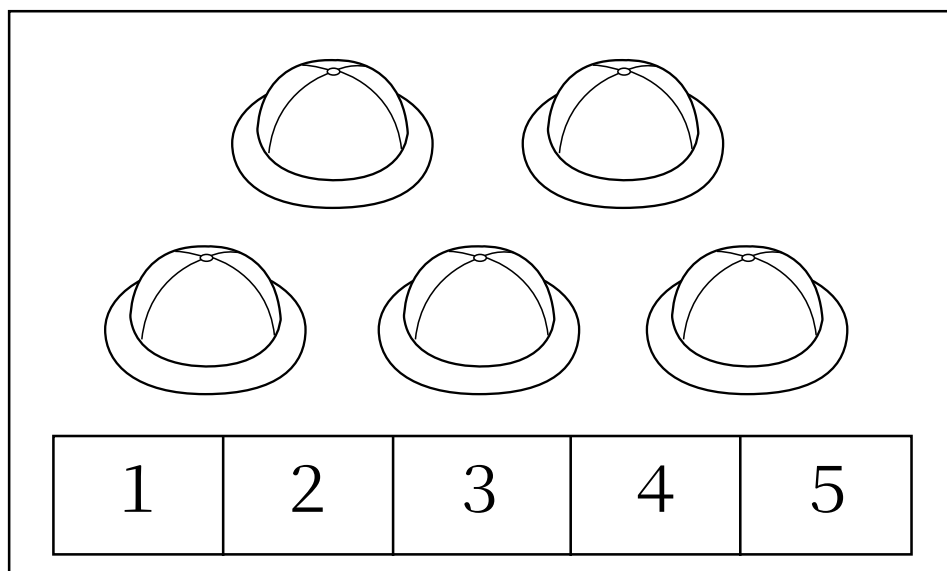
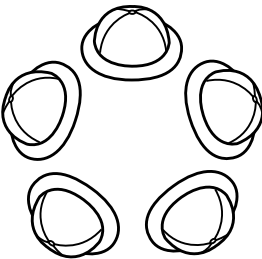
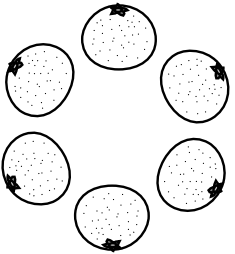
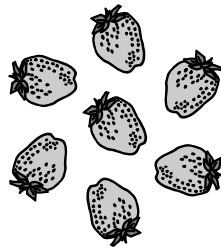
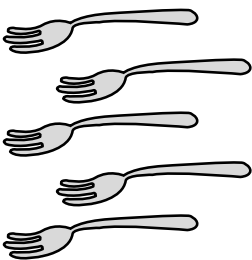
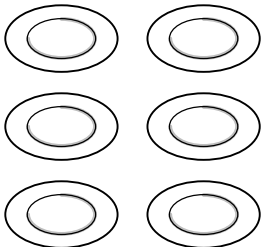
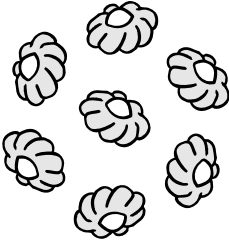
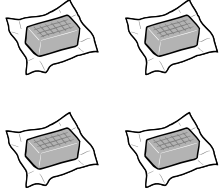
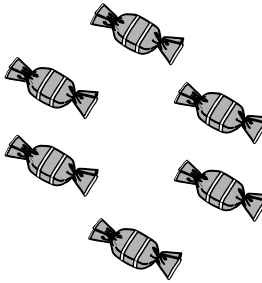
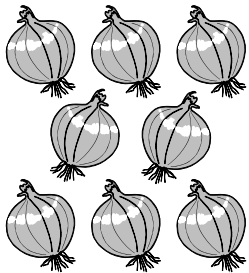
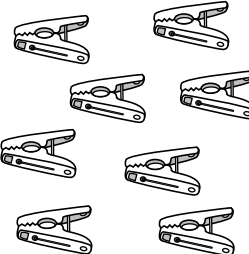
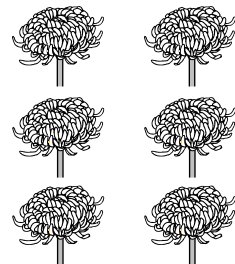
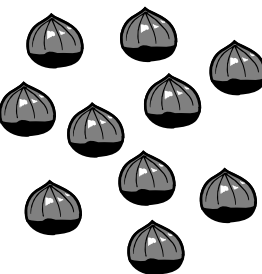
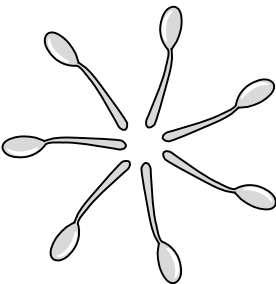
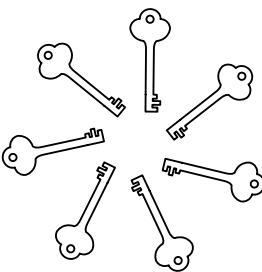
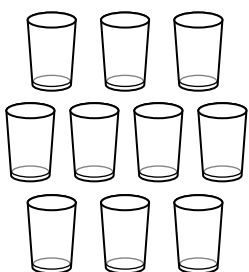
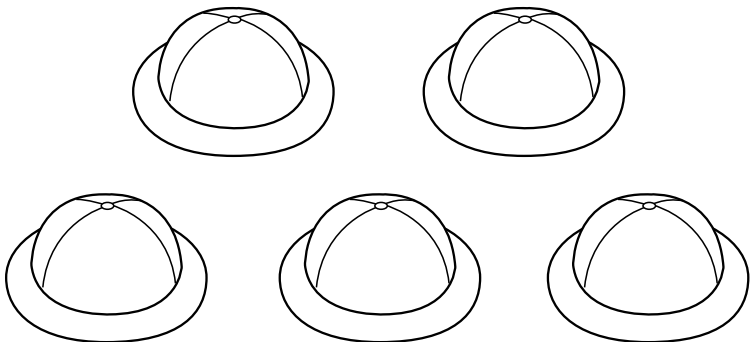




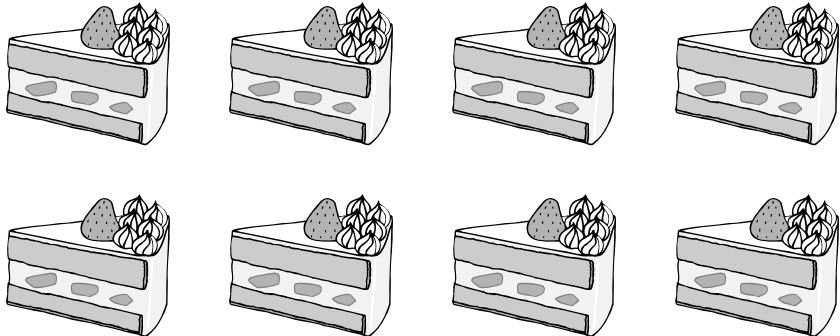
	●	▲	
	●	▲	
	●	▲	
	●	▲	

	●	▲	
	●	▲	
	●	▲	
	●	▲	

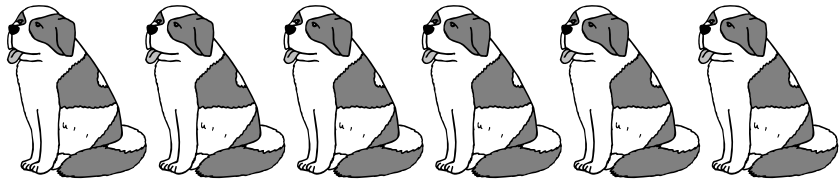
<問題> いくつあるでしょう。その数の数字に○をつけましょう。



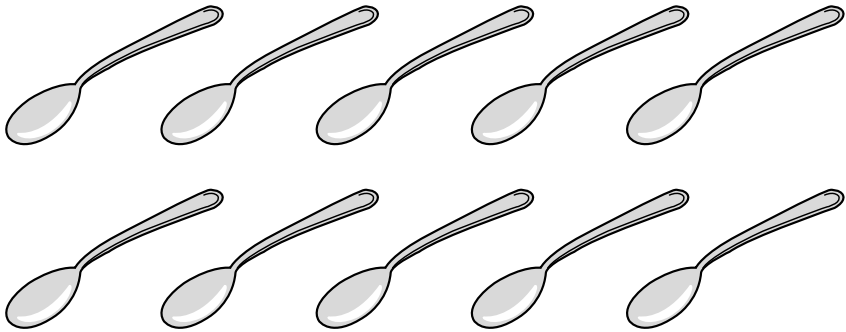
1	2	3	4	5
---	---	---	---	---



6	7	8	9	10
---	---	---	---	----



3	4	5	6	7
---	---	---	---	---

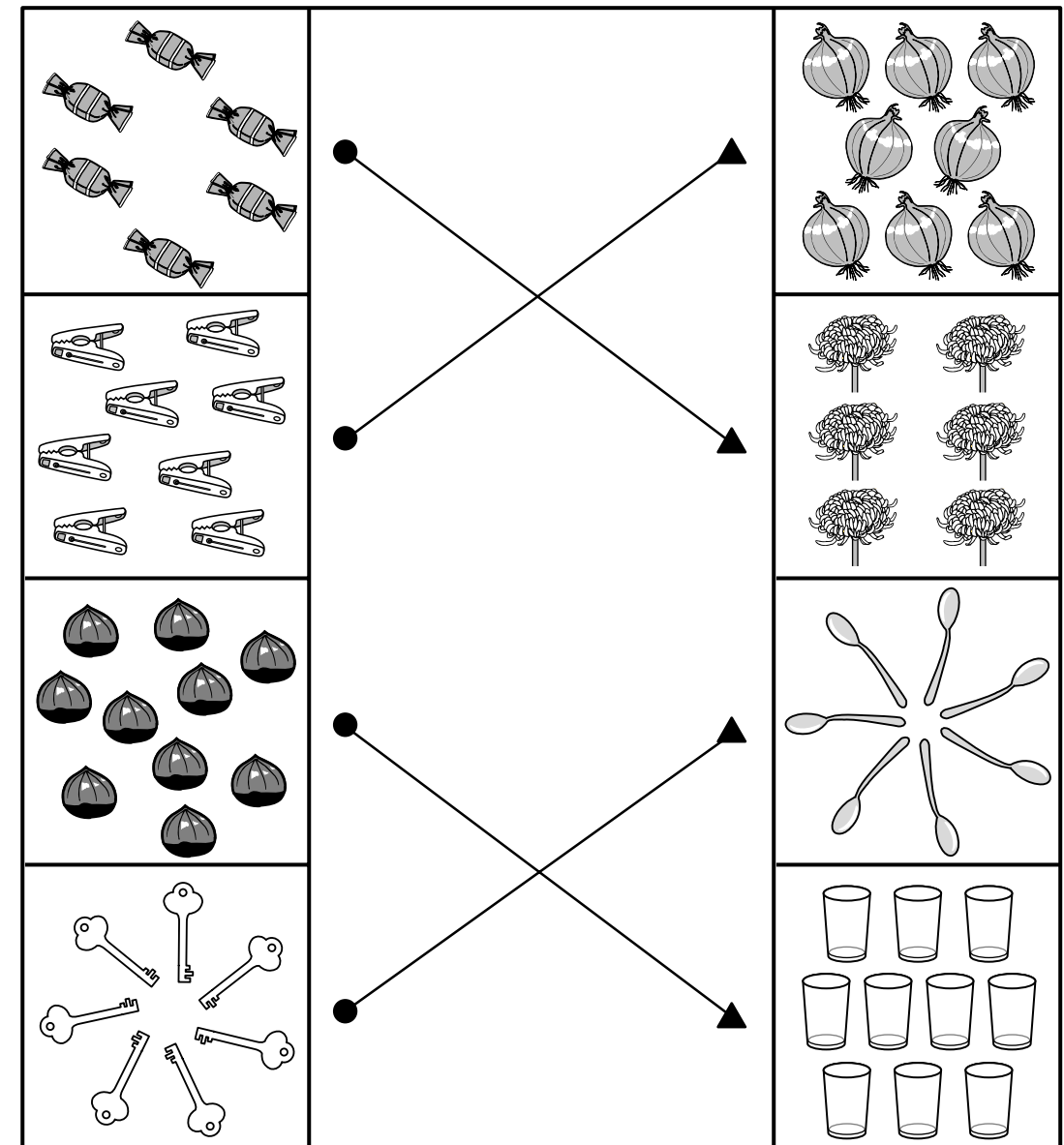
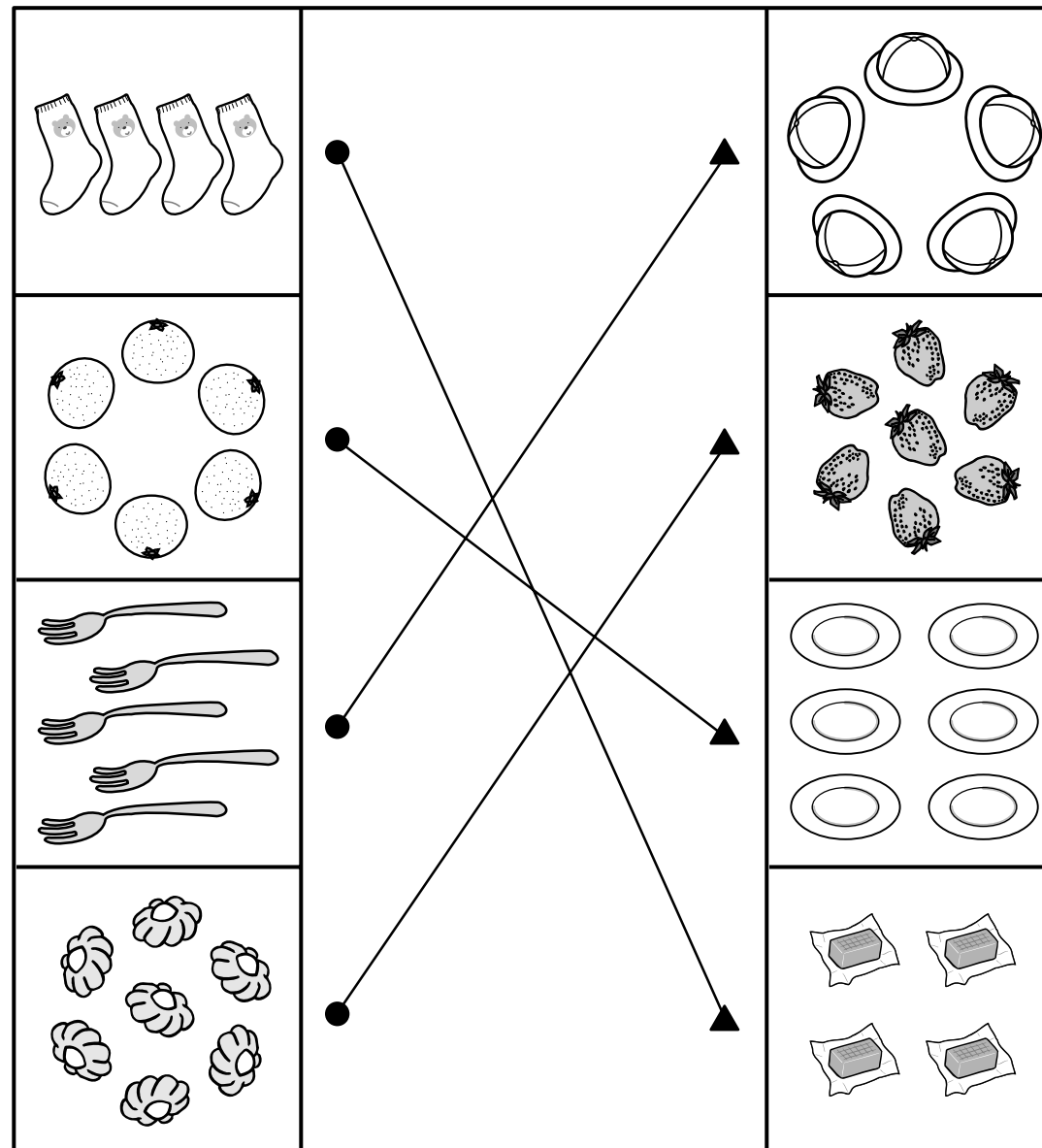


6	7	8	9	10
---	---	---	---	----

<指導のポイント>

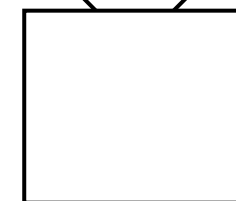
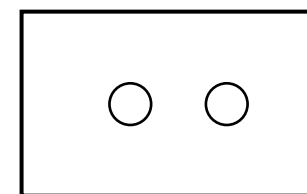
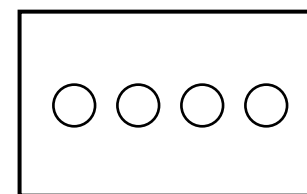
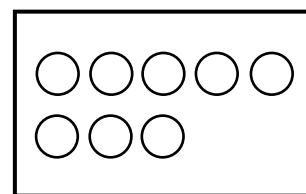
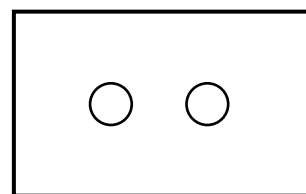
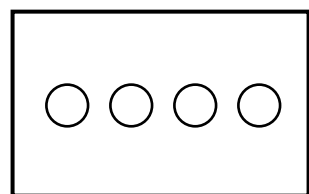
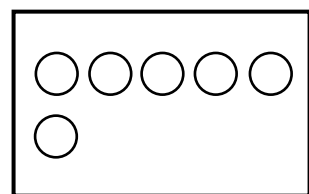
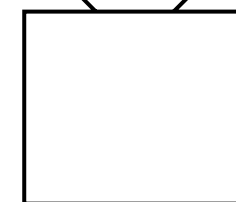
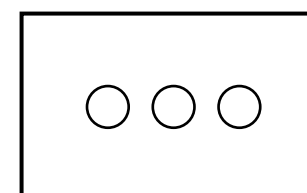
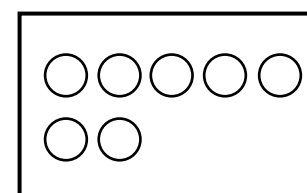
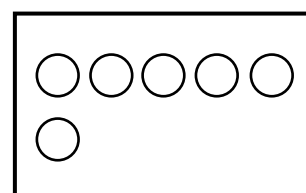
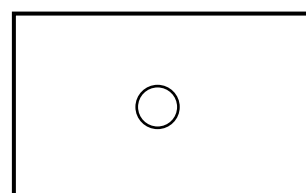
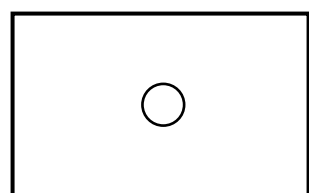
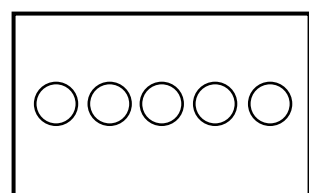
数える時には、絵に1つずつ印をつけながら、「1、2、3、4、5」と数えましょう。まず、指導者がお手本を見せてあげてください。お子さんが数える時は、印をつける手と数える声がうまく合っているか確認して下さい。

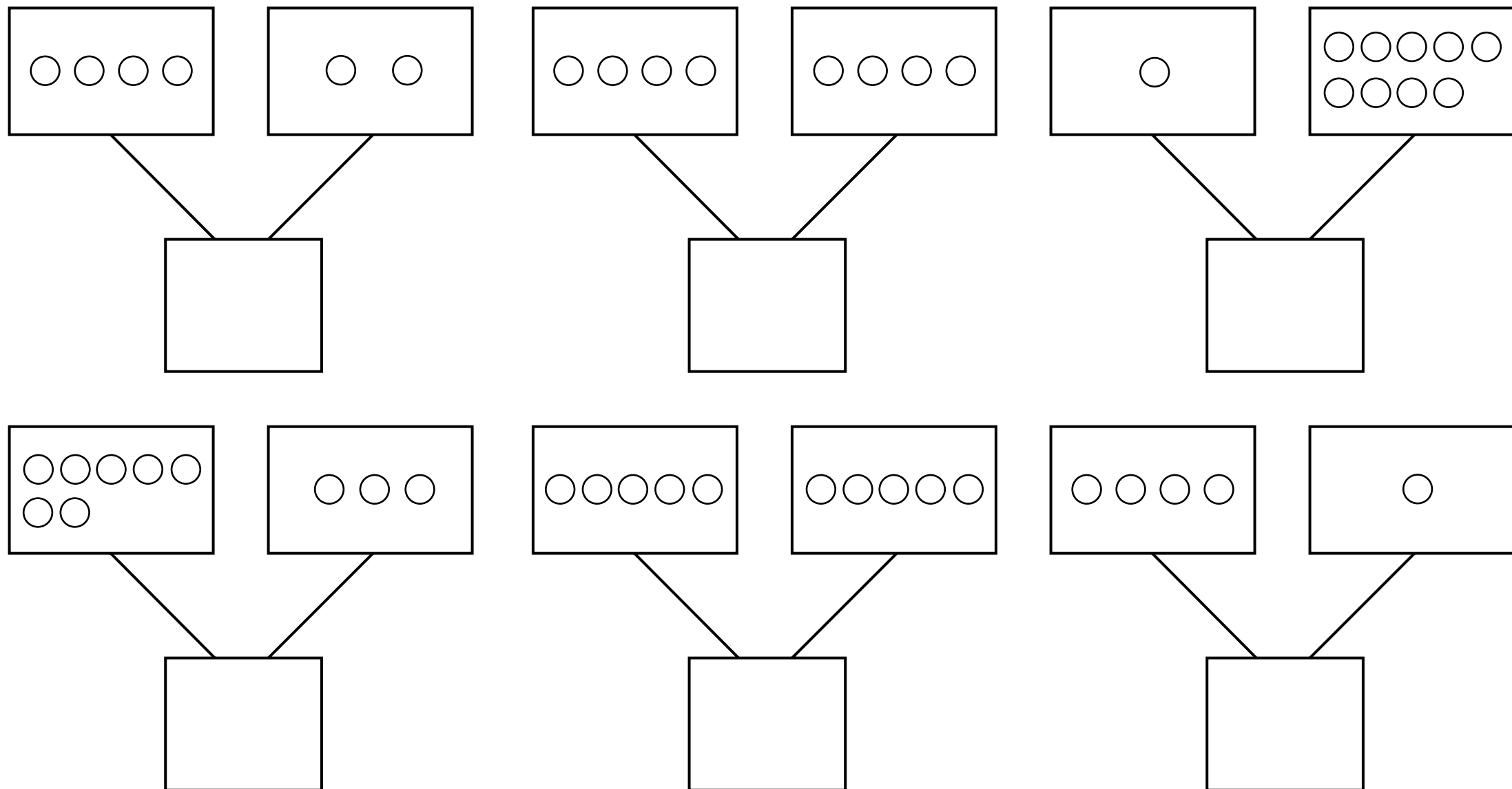
<問題> 同じかずのものを、線で結びましょう。



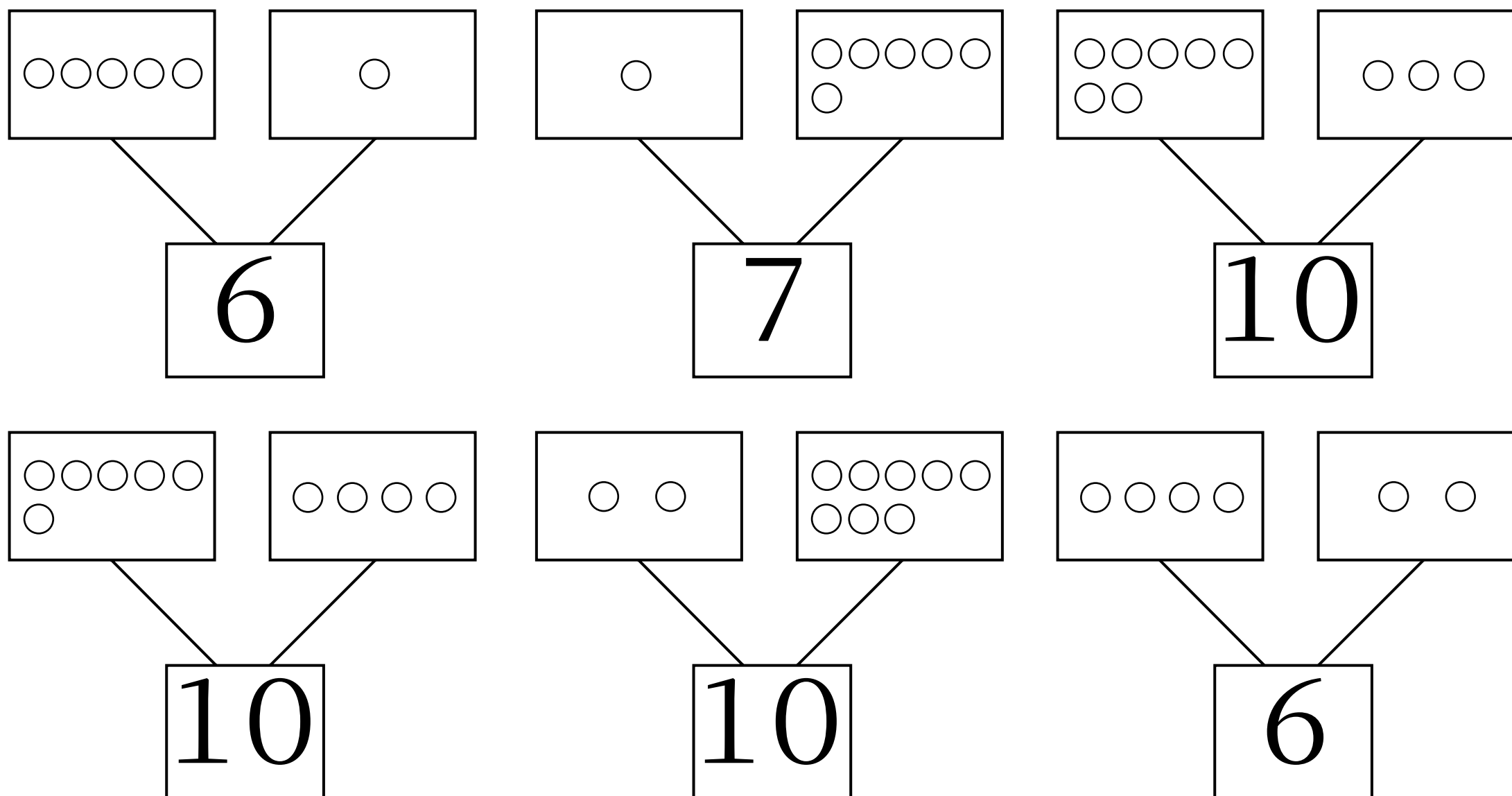
<指導のポイント>

先に、それぞれの絵の数を数えてから、同じ数のものを線で結びます。数える時は、絵に1つずつ印をつけながら、「1、2、3…」と数えます。数え忘れや重複がないように、しっかりかぞえるよう、注意してあげてください。





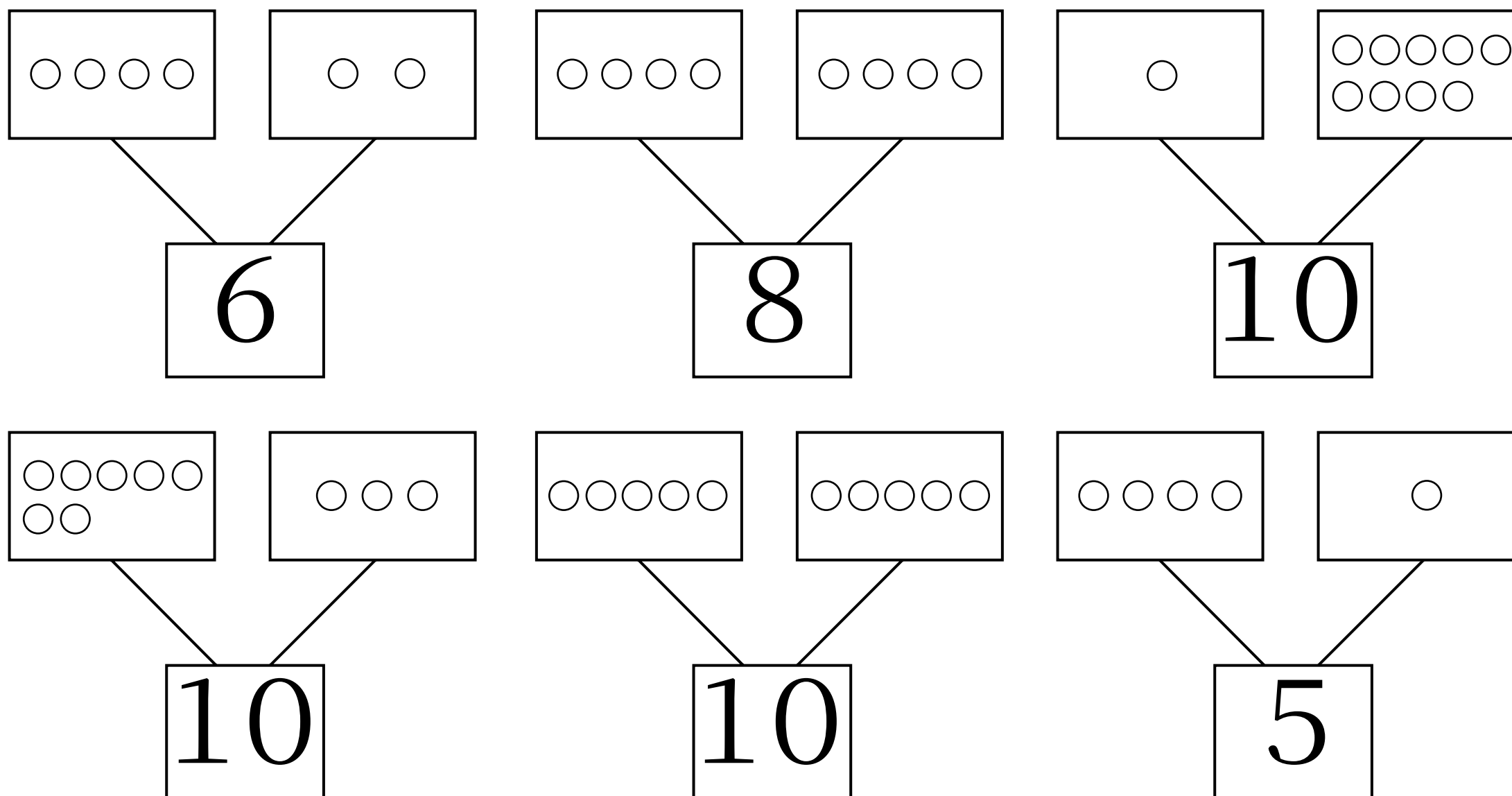
<問題> あわせるといくつになるでしょう。□に数字で書きましょう。



<指導のポイント>

具体物だけでなく、○のような記号でもたし算ができるように練習しておきましょう。左と右のそれぞれの○の数を数えて、あわせた数を考えます。答えあわせが終わったらプリントを見ながら、「5と1で?」「6」というように、答える練習もしておくといよいでしょう。

<問題> あわせるといくつになるでしょう。□に数字で書きましょう。



<指導のポイント>

左と右のそれぞれの○の数を数えて、あわせた数を考えましょう。答えあわせが終わったらプリントを見ながら、「4と2で?」「6」というように、答える練習もしておくといよいでしょう。ふだんから身近にあるもので、いろいろなたし算を練習してみましょう。

	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	い	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
ん	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	い	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
ん	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

<問題> ひらがなの50音表を読みましょう。(復唱させて下さい。)

- (1) 「あいうえお」(あいうえお)、「かきくけこ」(かきくけこ)、・・・「やいゆえよ」(やいゆえよ)、「らりるれろ」(らりるれろ)、「わ、を、ん」(わ、を、ん)
 (2) 「あかきたな」(あかきたな)、「はまやらわ」(はまやらわ)、「いきしちに」(いきしちに)、「ひみいりい」(ひみいりい)、「うくすつぬ」(うくすつぬ)、
 「ふむゆるう」(ふむゆるう)、「えけせてね」(えけせてね)、「へめえれえ」(へめえれえ)、「おこそとの」(おこそとの)、「ほもよろをん」(ほもよろをん)

	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	い	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
ん	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

<指導のポイント>

ひらがなが一文字ずつ読めるようになったら、50音表の縦(行)・横(段)の並びをまとめて覚えていきましょう。

50音表は、目につきやすいところにはっておいて、日頃から繰り返し読む練習をするとよいでしょう。

リズムをつけて、楽しく練習しましょう。

<問題> ひらがなをなぞりましょう。
ひらがなのひょうを読みましょう。(たて、よこ)

	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	い	り	い	み	ひ	に	ち	し	き	い
	う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え
ん	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

<指導のポイント>

ひらがなをていねいになぞりましょう。なぞった後で、一緒に50音表を読んでおきましょう。「あいうえお、かきくけこ、・・・」という縦の行と、「あかさたな、はまやらわ、いきしちに、ひみいりい、・・・」と横の段をまとめて覚えましょう。

ぎ
や

じ
や

ち
や

び
や

ぴ
や

ぎ
ゆ

じ
ゆ

ち
ゆ

び
ゆ

ぴ
ゆ

ぎ
よ

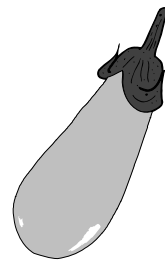
じ
よ

ち
よ

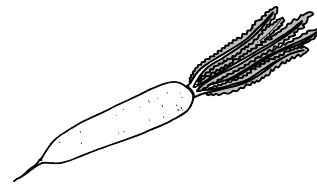
び
よ

ぴ
よ

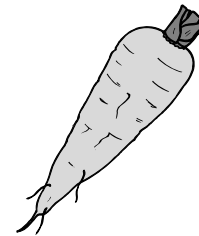
や
さ
い



な
す



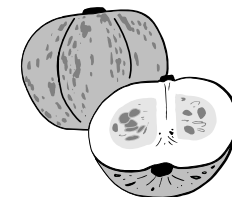
だ
い
こ
ん



に
ん
じ
ん



た
ま
ね
ぎ



か
ぼ
ち
や

<問題> (ひらがなを読んで復唱させて下さい。) ひらがなをなぞりましょう。

ぎ
や

じ
や

ぢ
や

び
や

ぴ
や

ぎ
ゆ

じ
ゆ

ぢ
ゆ

び
ゆ

ぴ
ゆ

ぎ
よ

じ
よ

ぢ
よ

び
よ

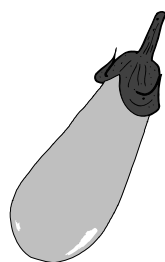
ぴ
よ

<指導のポイント>

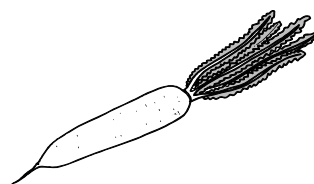
「ぎゃ」「ぎゅ」「ぎょ」は、「きゃ」「きゅ」「きょ」に「ゝ」がついたもの(他も同様)であることを教えてあげて下さい。このような音を含むことばを、お子さんと一緒にさがしてみるとよいでしょう。(ぎゅうにゅう、ぎょうれつ、じゃぐち、まんじゅう、じょうろ、びょういん、など)

<問題> ひらがなをなぞりましょう。

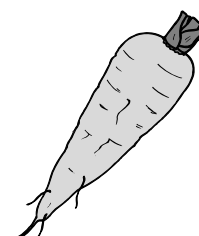
や
さ
い



な
す



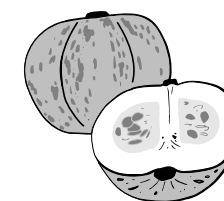
だ
い
こ
ん



に
ん
じ
ん



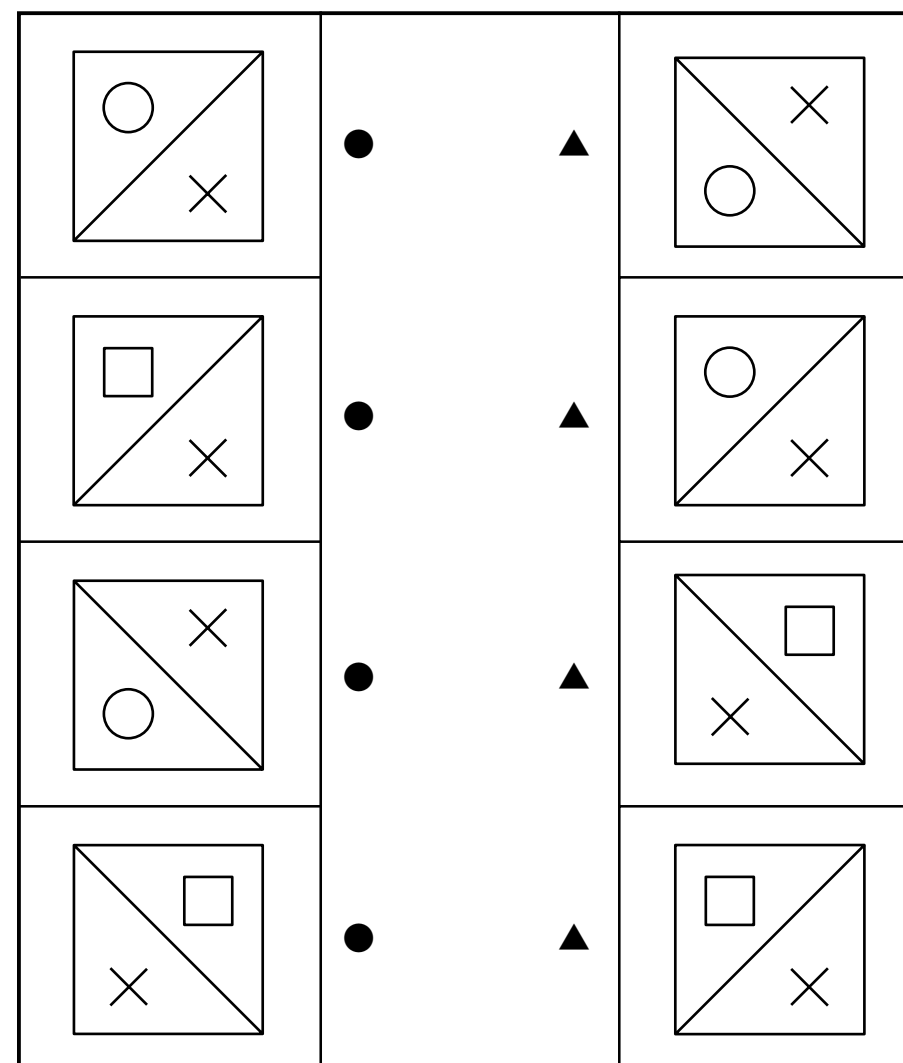
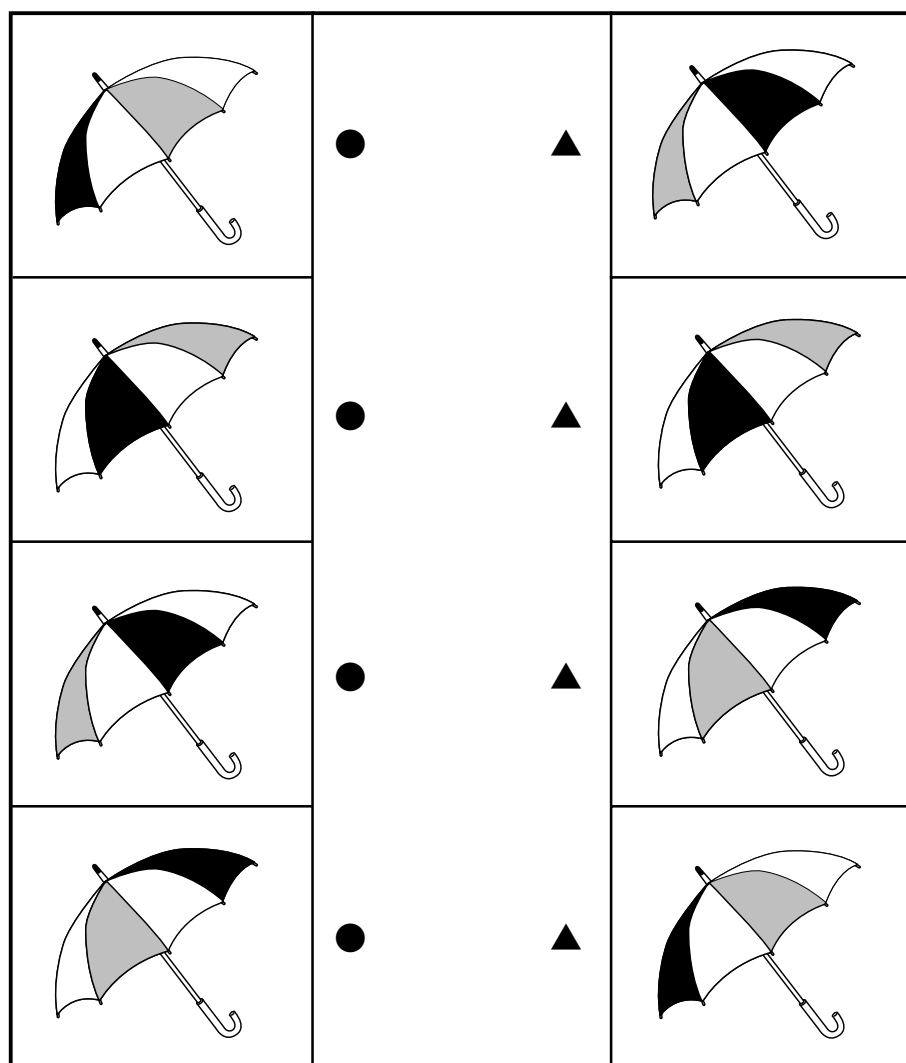
た
ま
ね
ぎ

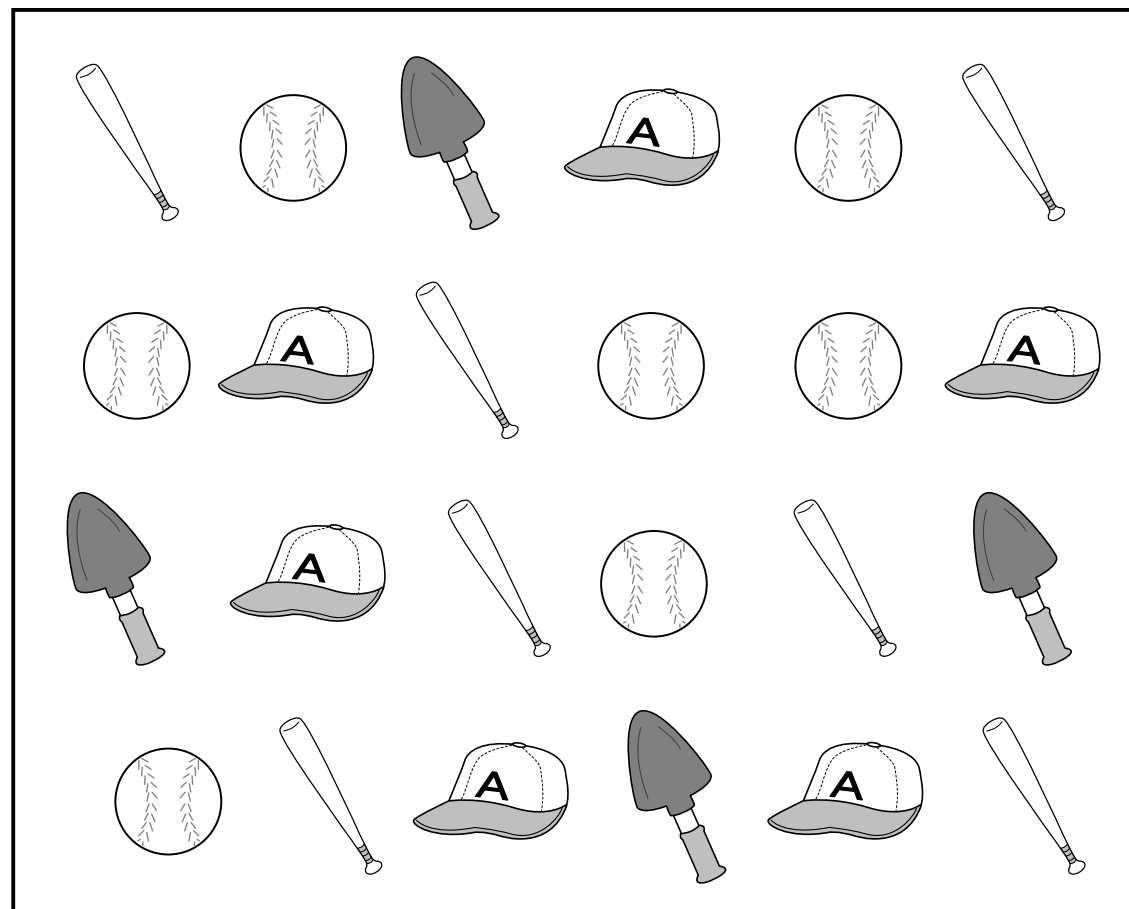
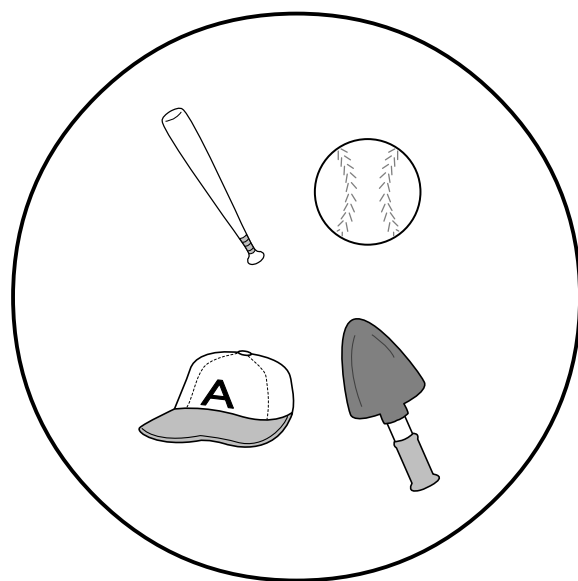


か
ぼ
ち
や

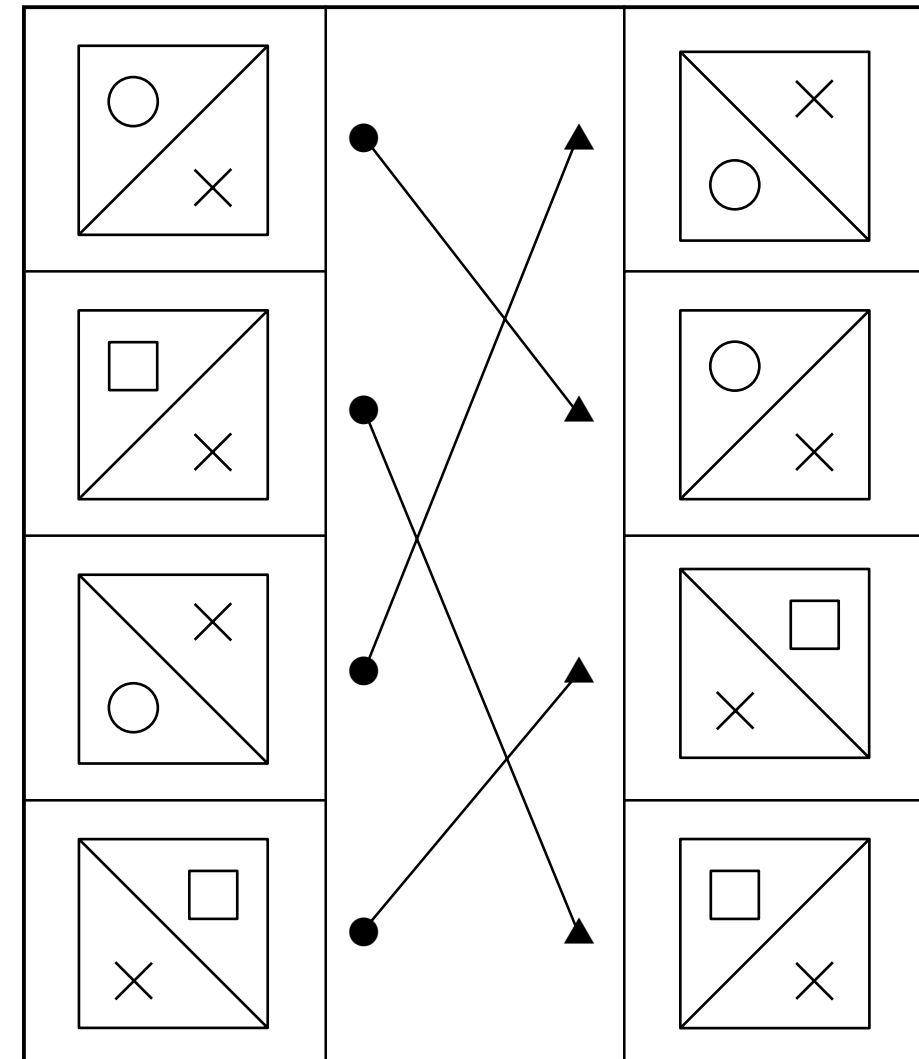
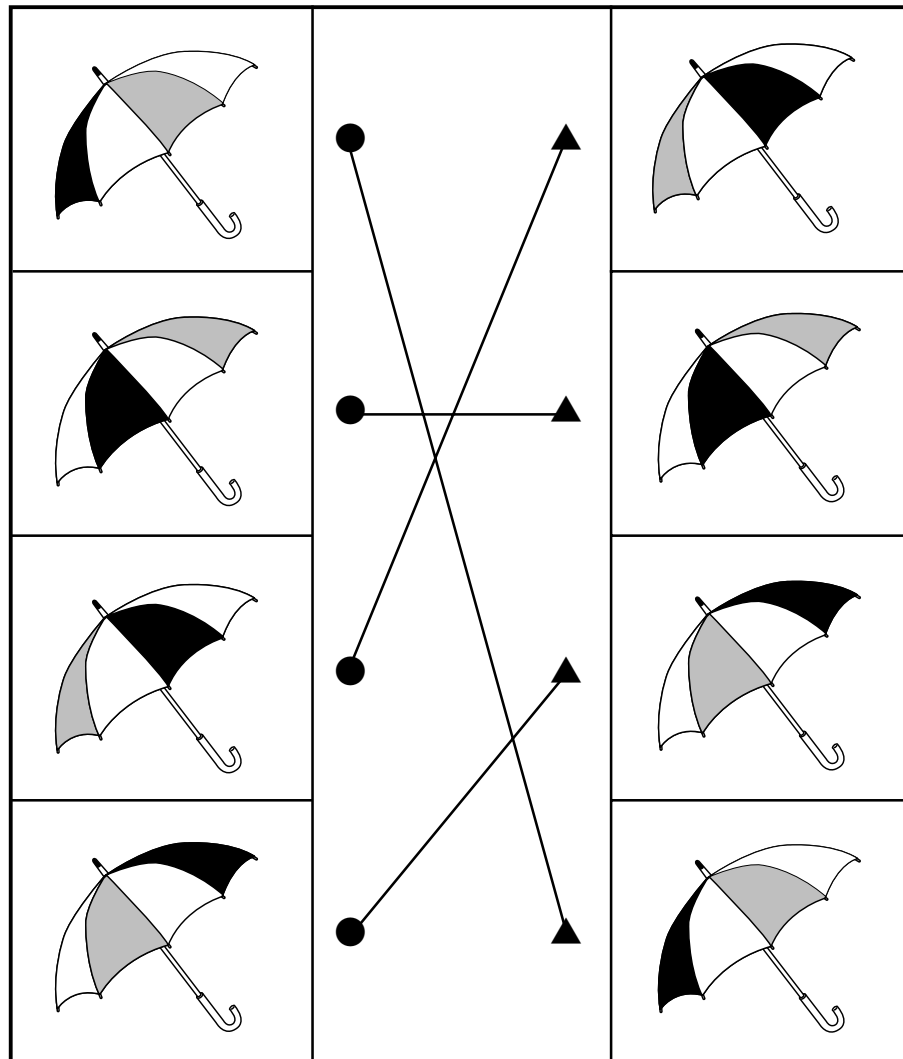
<指導のポイント>

「ㇿ」のつく字や、小さくかく字に注意して野菜の名前をていねいになぞりましょう。書き終わったら、一緒にことばを読んでおきましょう。これ以外の野菜の名前も言わせてみるとよいでしょう。





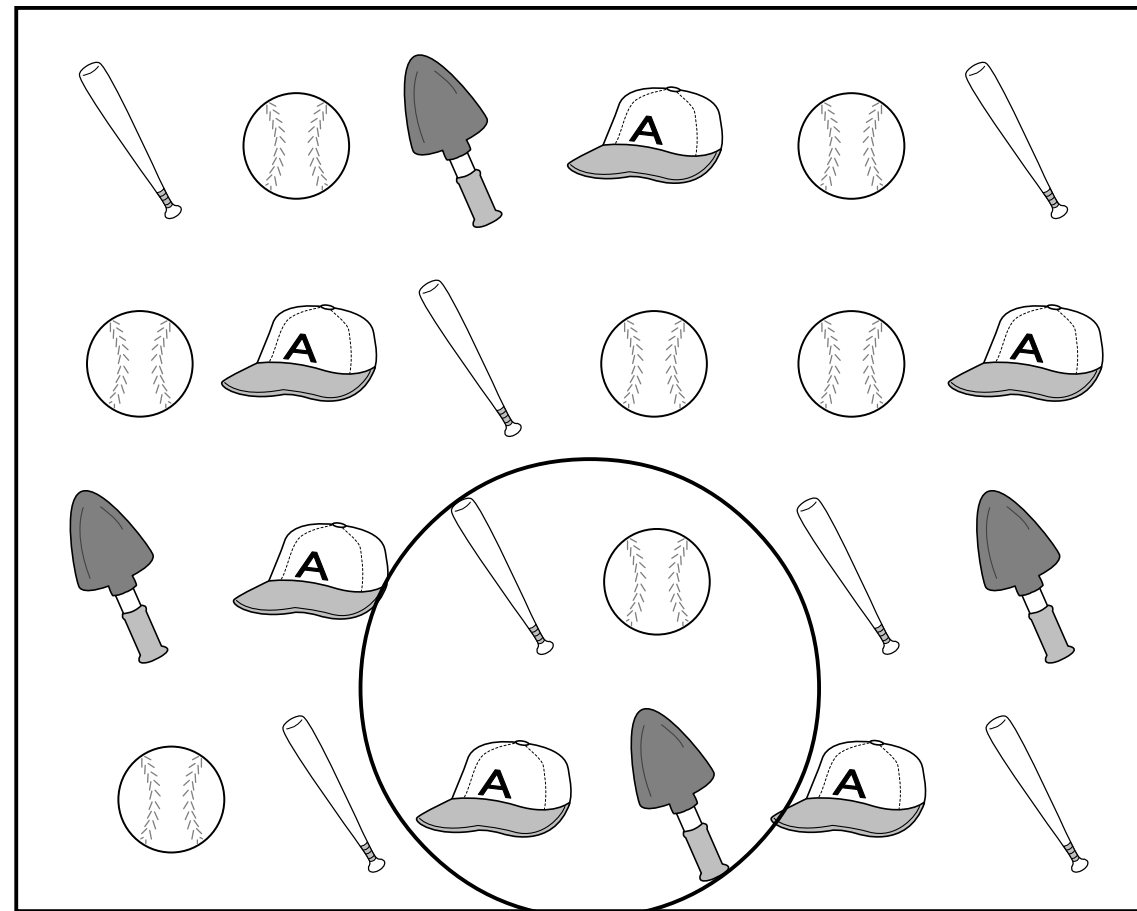
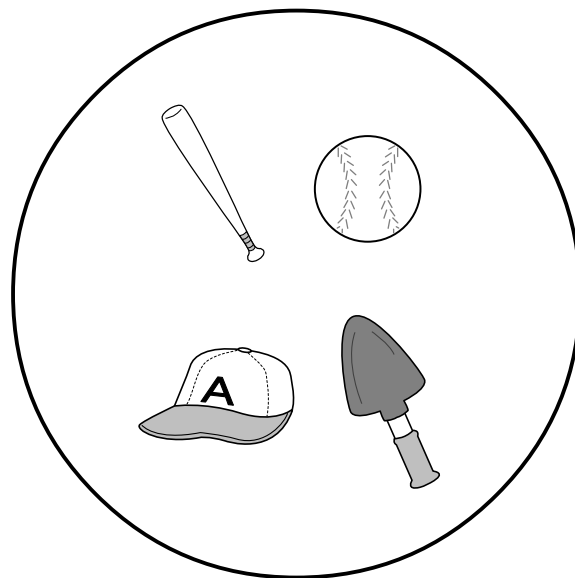
<問題> 同じものをみつけて、線でむすびましょう。



<指導のポイント>

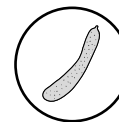
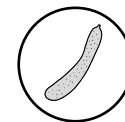
同じ絵を見つけるには、一つずつ形や色を見比べることが大切です。あわてずに、集中してしっかりととりくませましょう。絵だけでなく幾何的な図形にも慣れておきましょう。

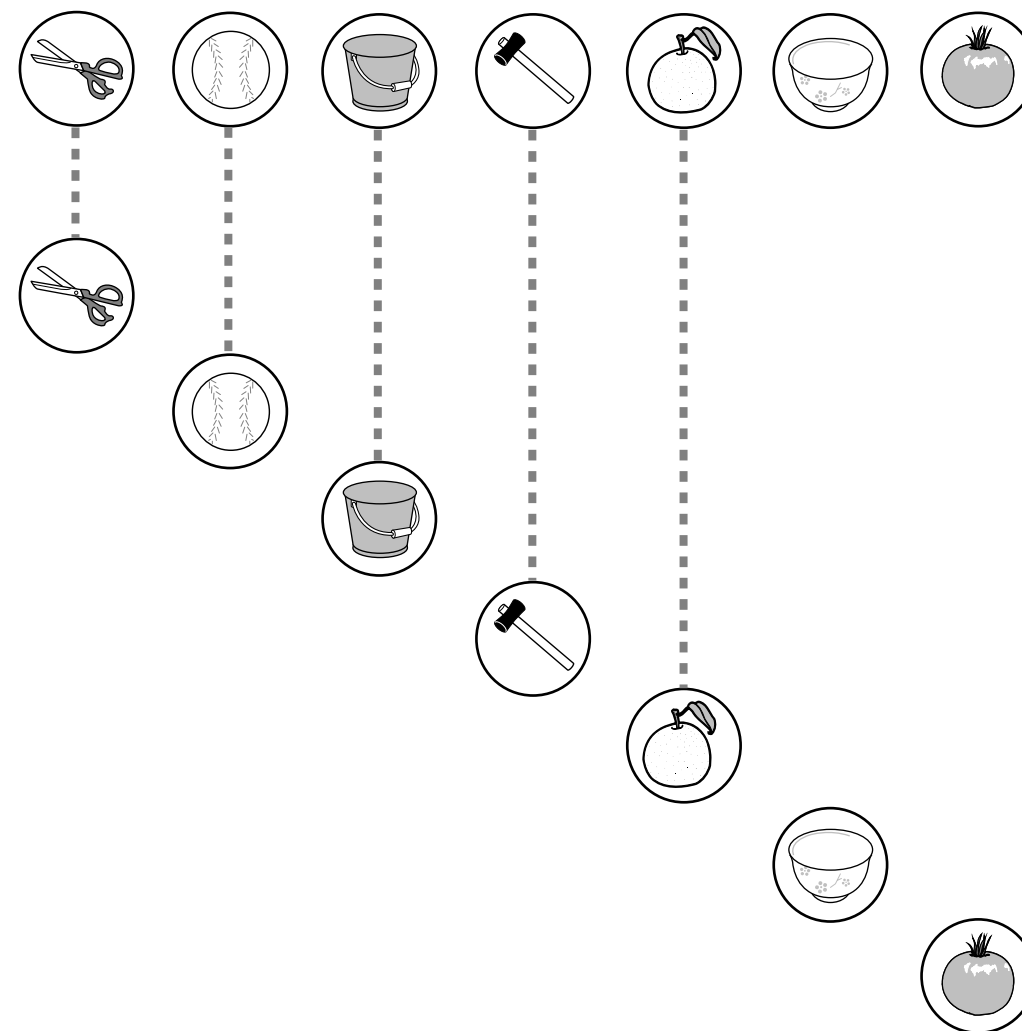
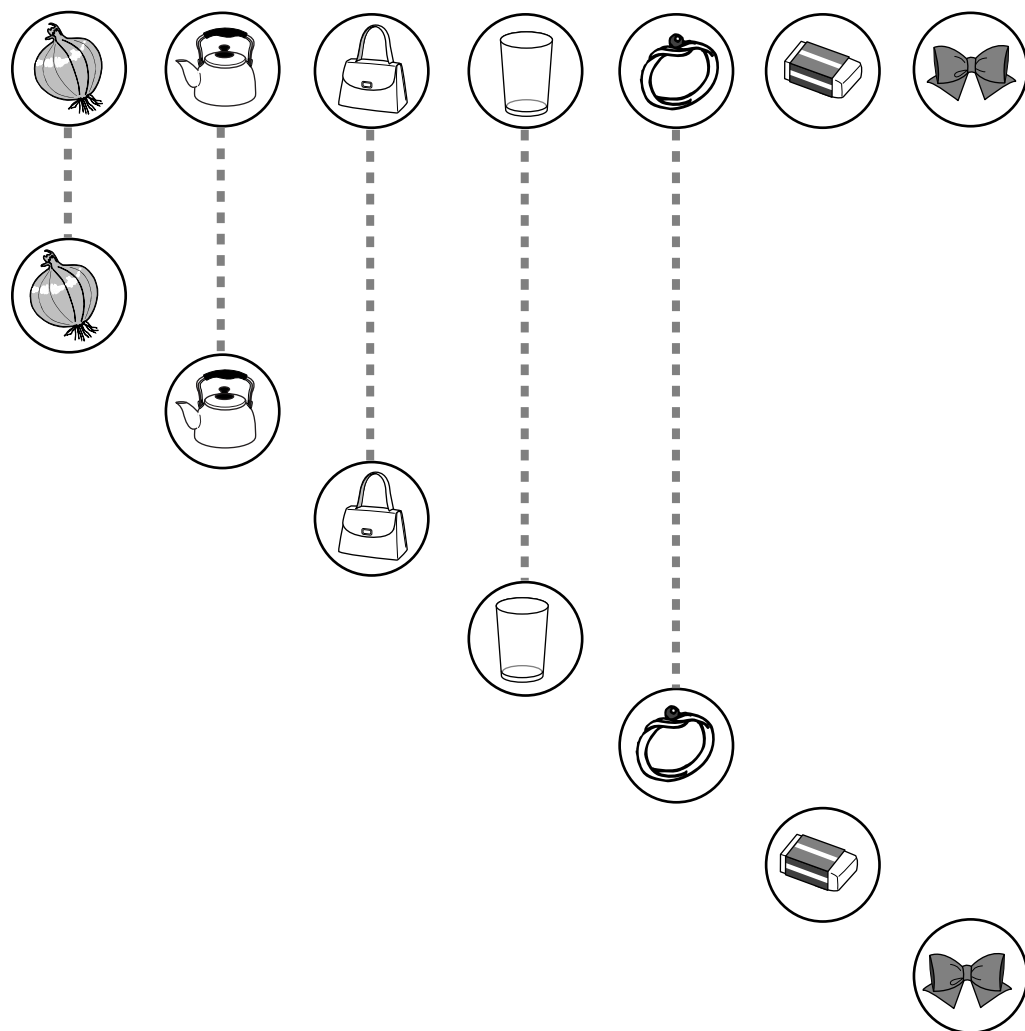
<問題> お手本と同じ絵が同じ順序で並んでいるところをみつけて、○でかこみましょう。



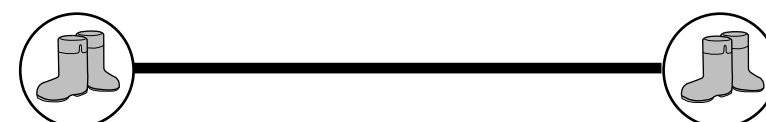
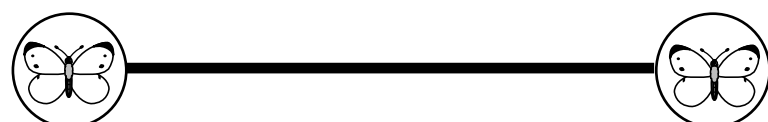
<指導のポイント>

4つの絵の並び方を比べるには、目印となるものを1つ決めるとわかりやすくなります。バットを目印にする場合には、バットがあるところで、「バットが左上で、右上がボール、左下がぼうし、右下がスコップのところ」をさがすとよいわけです。





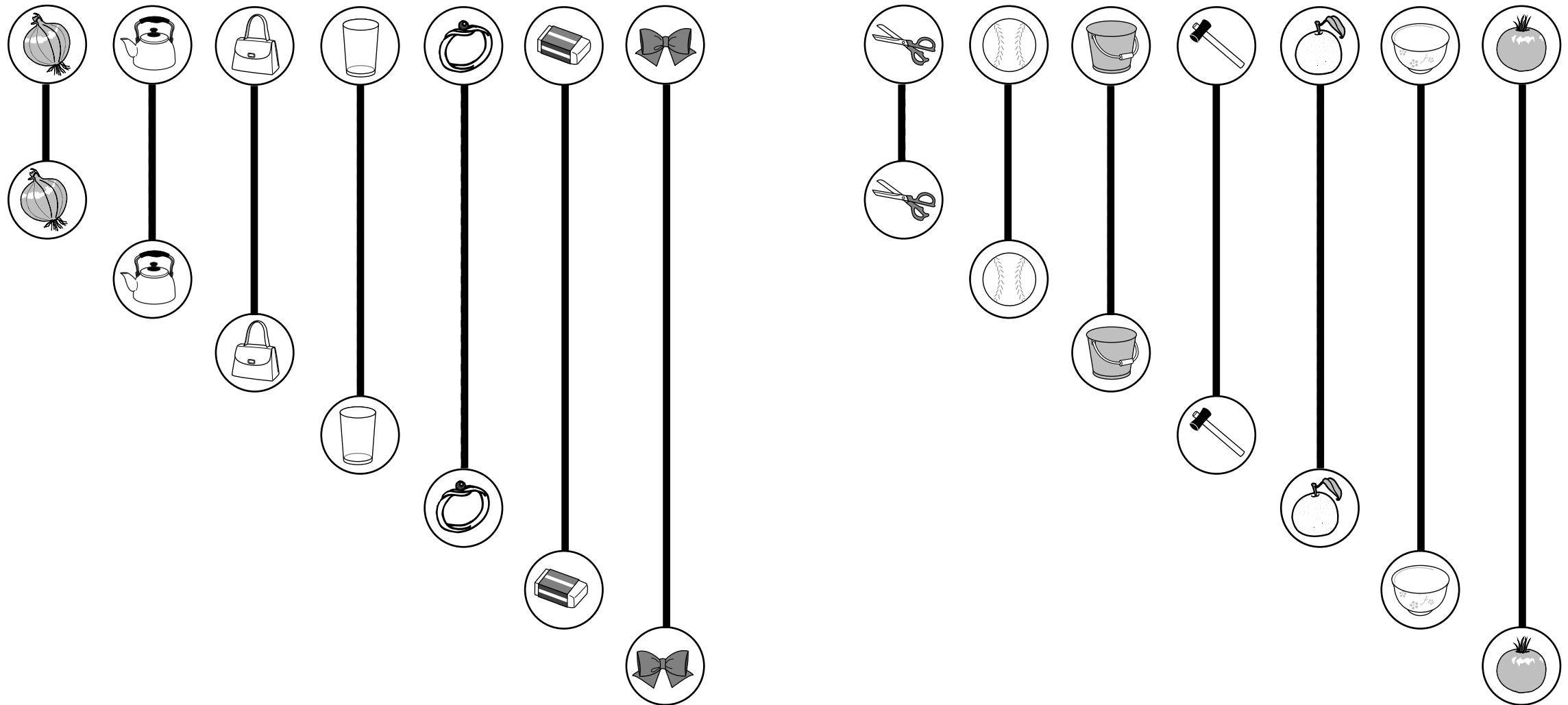
<問題> 同じものを結んで、線をひきましょう。



<指導のポイント>

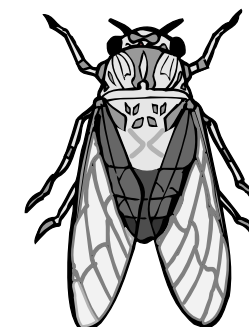
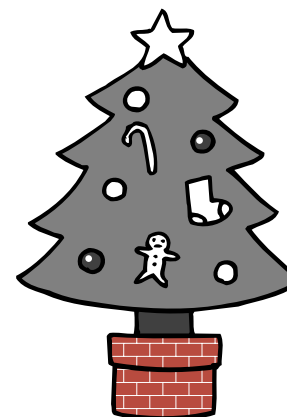
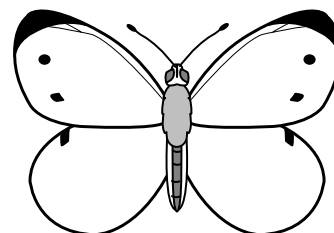
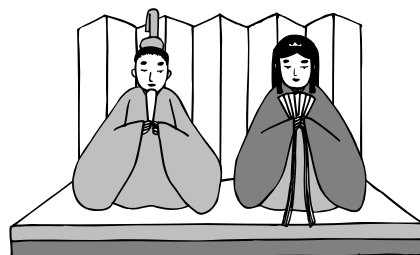
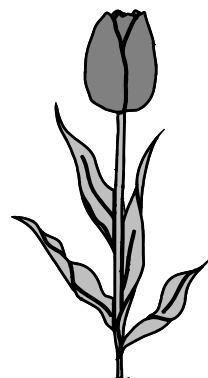
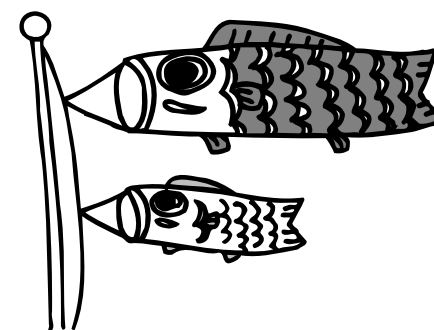
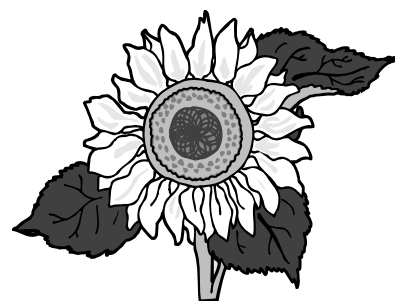
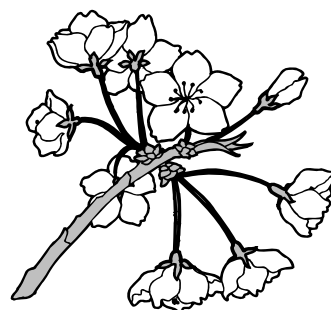
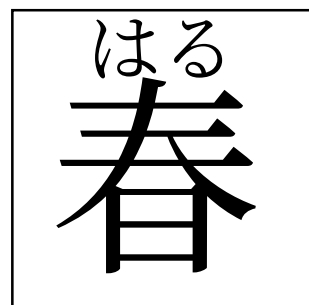
鉛筆（または色鉛筆）を正しく持って、力を入れてできるだけまっすぐ線をひきましょう。点線のあるところは、点線からはみでないようになぞりましょう。運筆力は、たくさんかくことで育っていきます。ひととおり線がひけたら、その線の間にも、たくさん線をかいてみましょう。

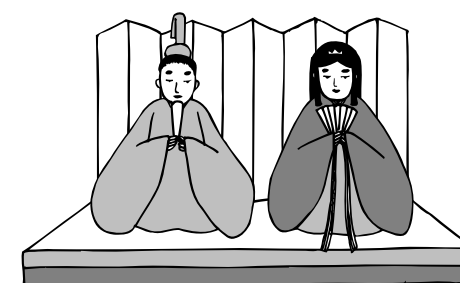
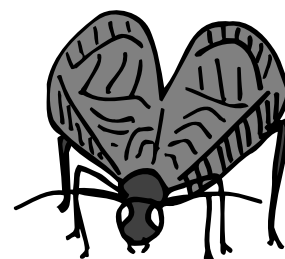
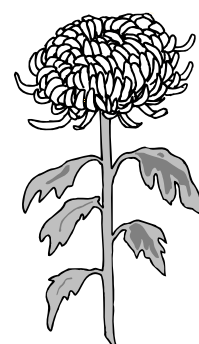
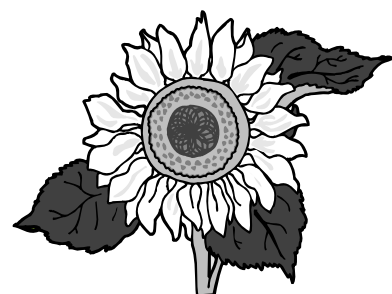
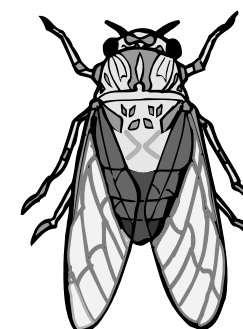
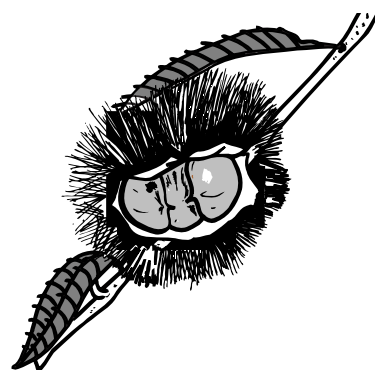
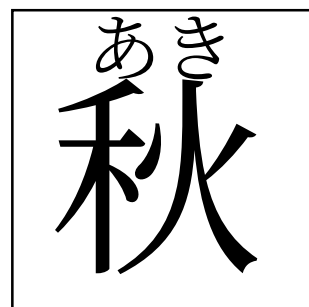
<問題> 同じものを結んで、線をひきましょう。



<指導のポイント>

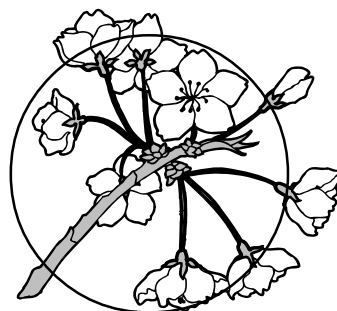
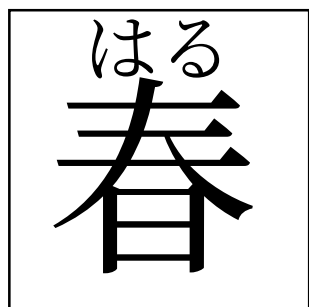
鉛筆（または色鉛筆）を正しく持って、力を入れてできるだけまっすぐ線をひきましょう。点線のあるところは、点線からはみでないようになぞりましょう。運筆力は、たくさんかくことで育っていきます。ひとつおり線がひけたら、その線の間にも、たくさん線をかいてみましょう。



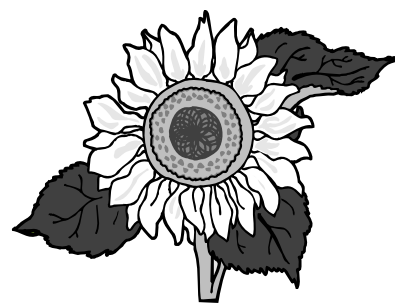


<問題> (1) 一つずつ、名前を言いましょう。

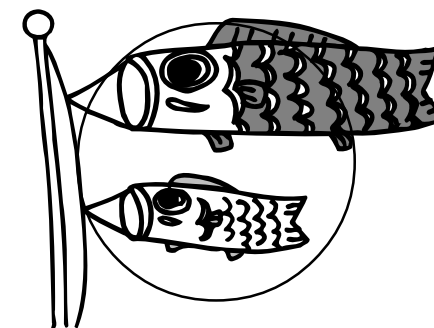
(2) 春の季節のものに、○をつけましょう。(「春」という漢字を指さしながら、質問してあげてください。)



さくら



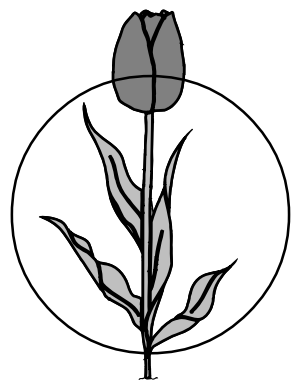
ひまわり



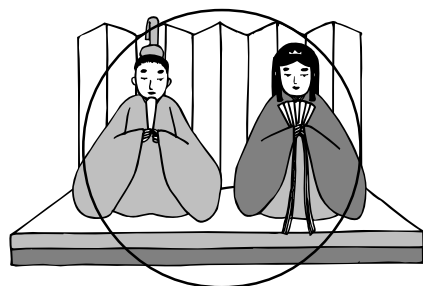
こいのぼり



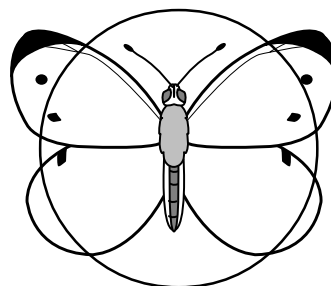
コスモス



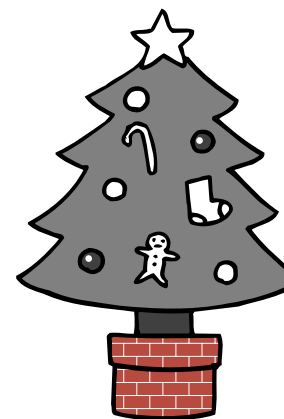
チューリップ



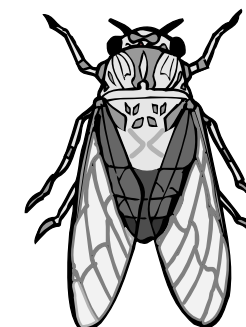
おひなさま



もんしろちょう



クリスマスツリー



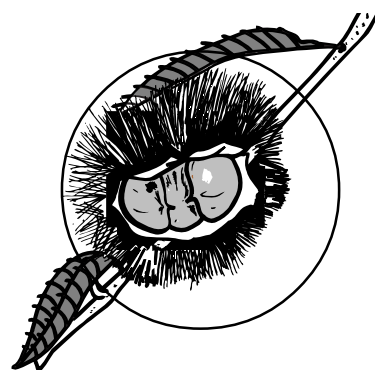
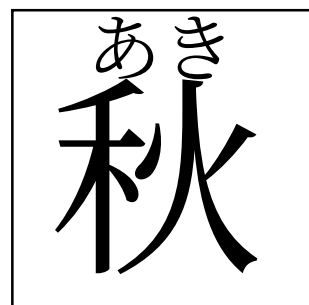
せみ

<指導のポイント>

幼い子どもにとって、季節はなかなかとらえにくいものです。それぞれの時期の旬の食べ物や自然の変化、年中行事などを通じて、四季の移り変わりを少しずつ意識させるようにするとよいでしょう。漢字にも少しずつ興味を持たせましょう。

<問題> (1) 一つずつ、名前を言いましょう。

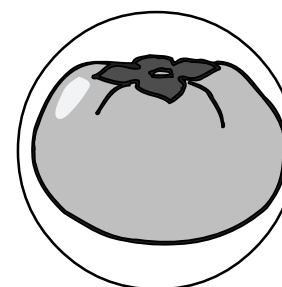
(2) 秋の季節のものに、○をつけましょう。(「秋」という漢字を指さしながら、質問してあげてください。)



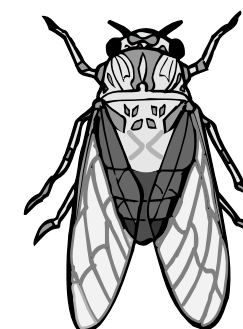
くり



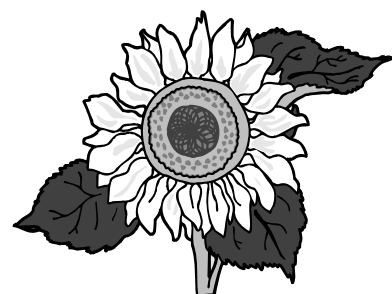
月見



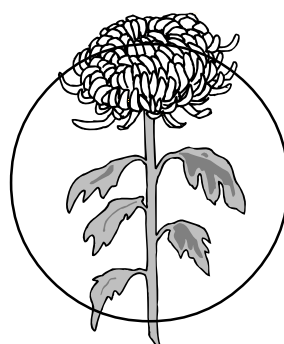
かき



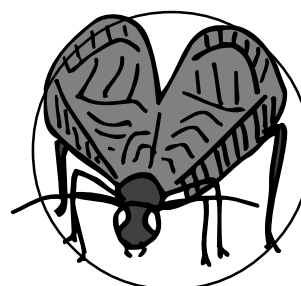
せみ



ひまわり



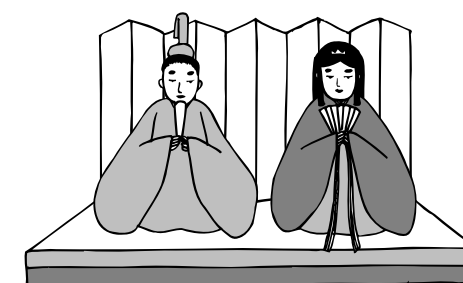
きく



すずむし



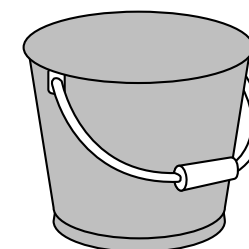
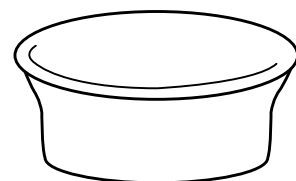
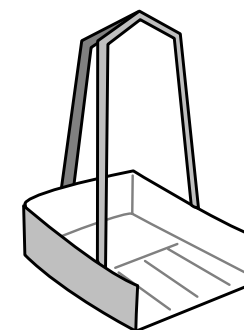
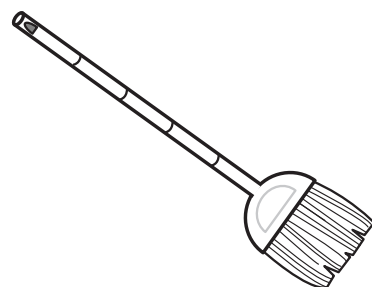
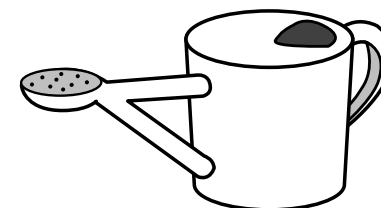
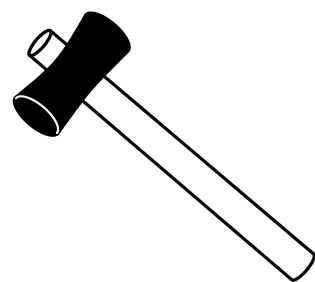
たんぽぽ

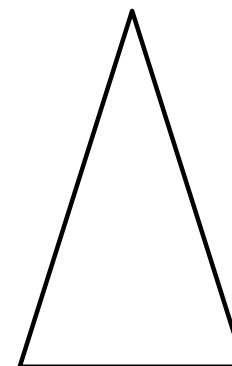
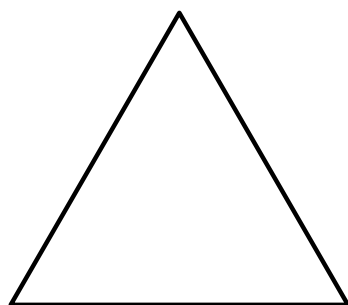
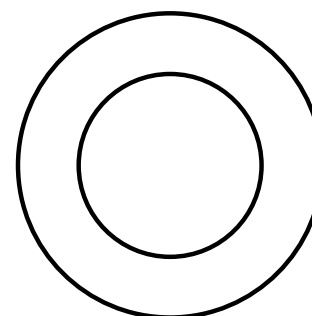
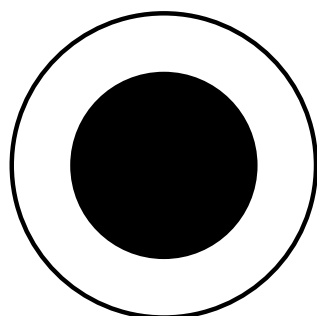
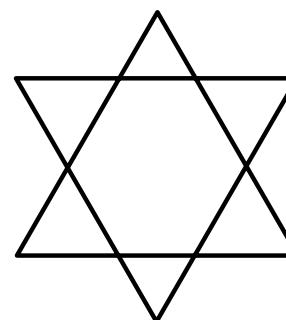
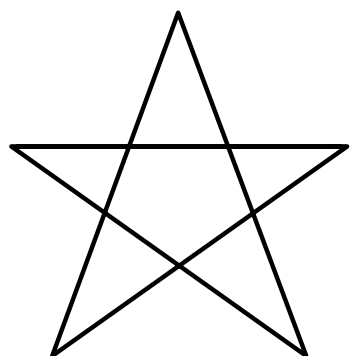


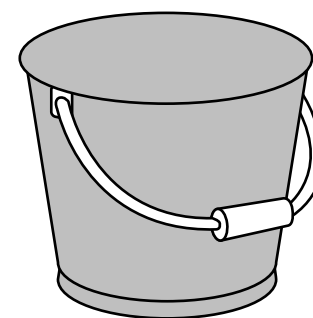
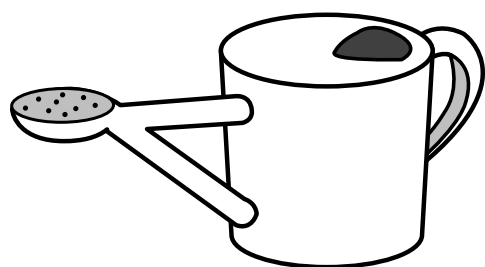
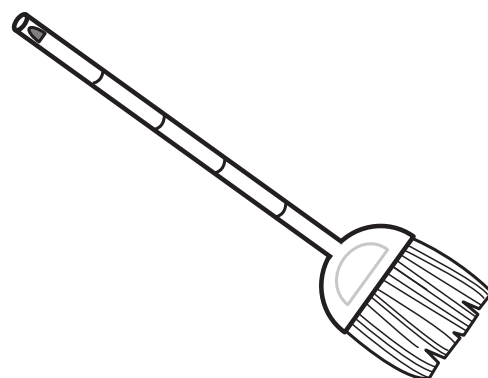
おひなさま

<指導のポイント>

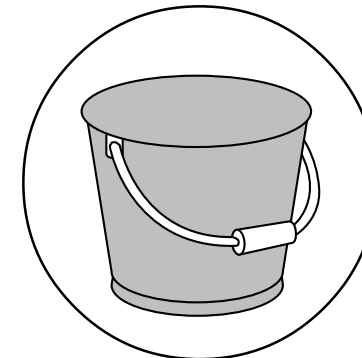
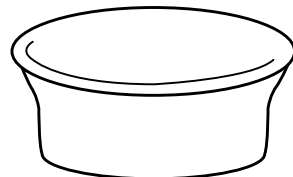
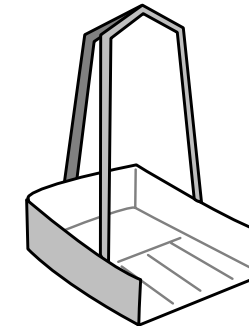
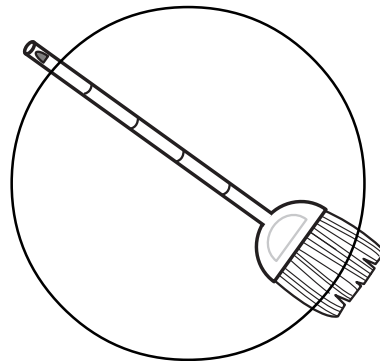
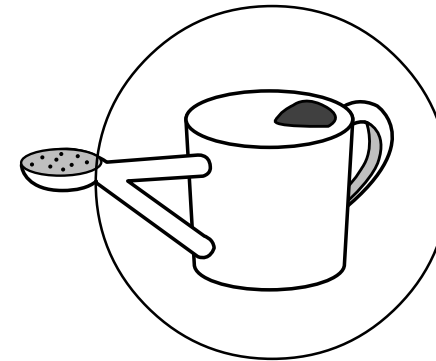
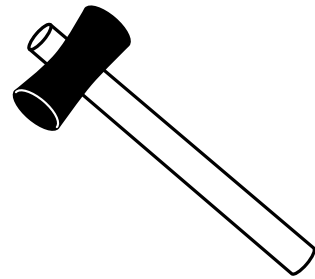
幼い子どもにとって、季節はなかなかとらえにくいものです。それぞれの時期の旬の食べ物や自然の変化、年中行事などを通じて、四季の移り変わりを少しずつ意識させるようにするとよいでしょう。漢字にも少しずつ興味を持たせましょう。





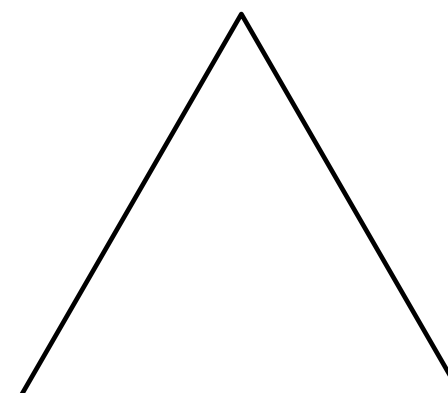
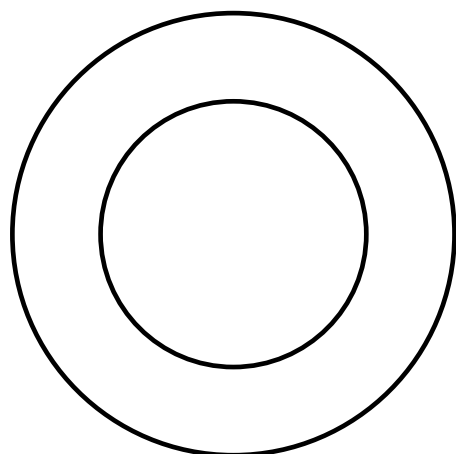
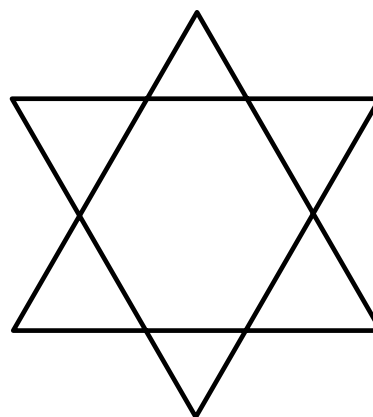


- <問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を10秒間見せます。
「何があるか、よく見ましょう。何があったか、後から聞きますよ。」
(2) プリントを表向きにして、「何がありましたか。○をつけましょう。」

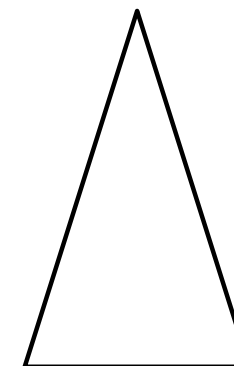
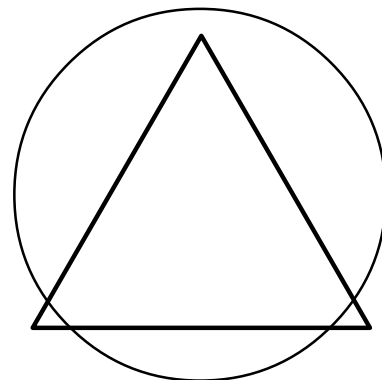
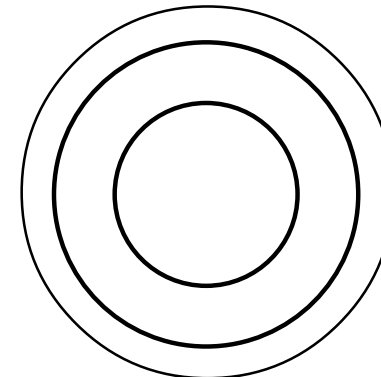
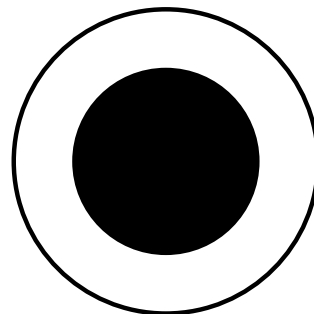
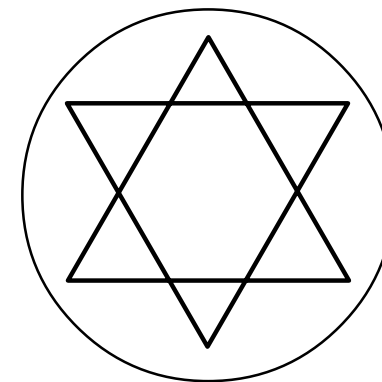
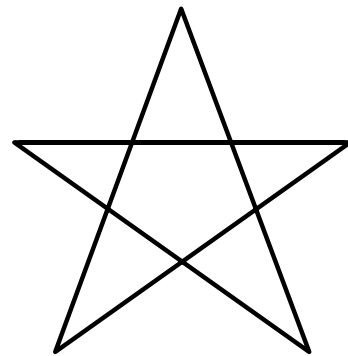


<指導のポイント>

答えあわせをかねてもう一度絵を見せた後で、「何があったのかな」と聞いて「ほうきとじょうろとバケツ」というように、言葉で答える練習もしておくといよいでしょう。



- <問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を10秒間見せます。
「どんな形があるか、よく見ましょう。どんな形があったか、後から聞きますよ。」
(2) プリントを表向きにして、「どんな形がありましたか。○をつけましょう。」



<指導のポイント>

よく似た形の中から見たものを選びます。答えあわせをかねて、もう一度記憶用紙を見せてあげると、今度はしっかり見るようになります。